

職場体験学習に関するアンケートのまとめ

22.5.7
飯田市教育委員会

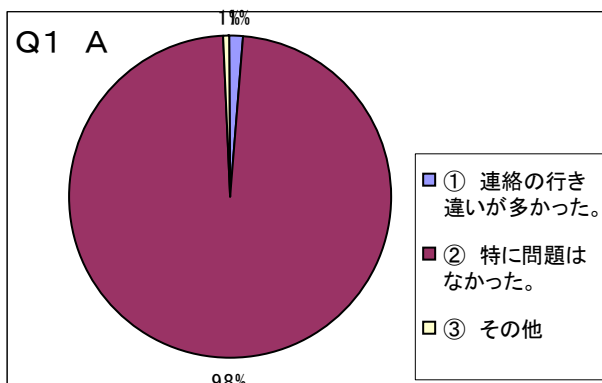
アンケート回収数	153事業所
----------	--------

(業種別)					
医療・介護・福祉施設	59	理美容業	3	自衛隊	1
保険薬局	2	旅館業	4	テーマパーク	1
歯科医	2	建設工事業	5	動物園	2
動物医療・ペットサロン	1	自動車販売、整備	6	図書館	1
飲食業	6	幼稚園・保育園	22	官公庁	2
小売・販売業	11	金融機関	2	サービス業	4
製造業（食品等）	2	報道機関	4		
製造業（精密機械等）	7	会計士・税理士・弁護士	3		
製造業（伝統工芸）	2	卸売業	1		

1 飯田市教育委員会による、職場体験のための職場開拓支援策に関連してお伺いします。

A 教育委員会との連絡調整において、問題・課題に感じたことはありますか？

① 連絡の行き違いが多かった。	2	1%
② 特に問題はなかった。	150	98%
③ その他	1	1%

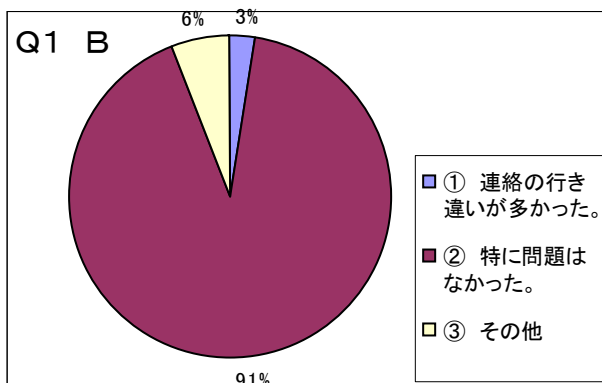


(意見)

- インフルエンザの対応は、教育委員会でしっかりおねがいします。
- 関心をもっていただく良い機会である。
- こちら側より受け入れられる人数を出したが、話が来た人数が多く対応が大変だった。

B 学校（教職員）との連絡調整において、問題・課題に感じたことはありますか？

① 連絡の行き違いが多かった。	4	3%
② 特に問題はなかった。	140	91%
③ その他	9	6%



(意見)

- 事前訪問して、実習しに来て下さる生徒さんの様子、目的等を教えて下さると、施設側にとっては指導しやすくなります。
- 職場体験の前日になっても先生と連絡がつかないという事があったので、2日前位にはきちんと連絡がとれている状態にできるようにしたい。
- 何か一課題を持って発表ということを学生さんに伝えたが、発表につながらず残念なことがあり、次回はしっかりと話を詰めていきたいと思いました。
- プロフィールをいただいていない（たまたま一日のみ受入を頼まれました）学生さんが、研修中にいなくなってしまう学校に連絡したりした事がありました。特記事項などあれば、良かったと思います。

み受入を頼まれました）学生さんが、研修中にいなくなってしまう学校に連絡したりした事がありました。特記事項などあれば、良かったと思います。

- 当日、担当職員が対応できないこともありますのでご理解下さい。
- 一度目の体験にみえない方がいた。子ども達に聞いて欠席ということがわかった。(常にお休みされることが多い子どもさんとのことだった) 2回目の体験学習には、出席されたので皆で、良いところを褒めてあげました。
- 出勤、退勤時間について(特に退勤時間)、当方の都合で変更があります。(早まる可能性)
- 接客業のため、こちらが接客中の場合、学校からの長電話については、配慮していただけたら幸いです。
- 担当の先生が回ってこられ、ユーモアのある励ましの言葉をかけて行かれました。
- 特別支援学級の子どもさんについて、数日して別の子どもさんから聞かされました。一言、教えていただけたら、対応の仕方もありましたが。なかなか簡単な事を飲み込むことが出来ませんでしたので、教えるお店のスタッフの子が何回も直しながら苦労していました。
- 欠席の連絡をきちんと
- 担当の先生が職場体験の様子を見に来られましたが、生徒は工事現場へ行っており様子を見ることが出来ませんでした。事前に来られることを知らされていれば、工事現場の場所を伝えることが出来ました。
- 学年ごとの連絡でなく、学校全体で打合せをしてからまとめて連絡していただきたい。
- 新型インフルエンザのことで行かうかどうかぎりぎりわかったこともあったので、連絡のやりとりをきちんとお願いしたい。
- 相手に失礼がないようにとの配慮だとは十分理解していますが、生徒さんからの電話・打ち合わせ・手紙が、あまりにも形式的・一方的なのが残念です。体験に向けてのコミュニケーションの一つですから、その点のご指導も是非お願いをしたいと思います。
- 学校の生活状態で、心配な生徒さんについては、(不登校気味など)あらかじめ情報を入れていただきたい。
- 各校とも、終了後に生徒達の丁寧な便り、報告書を送ってくれるのは、受け入れ先としてはうれしい。
- 障害を持つ学生さんの受入に際して、学校より詳しい説明、問題があった時の対応についての話がなかったため、体験に入ってから困ることがあった。

◎ 欠席の場合の連絡、インフルエンザの場合の対応
◎ 特別に配慮を要する生徒の情報提供

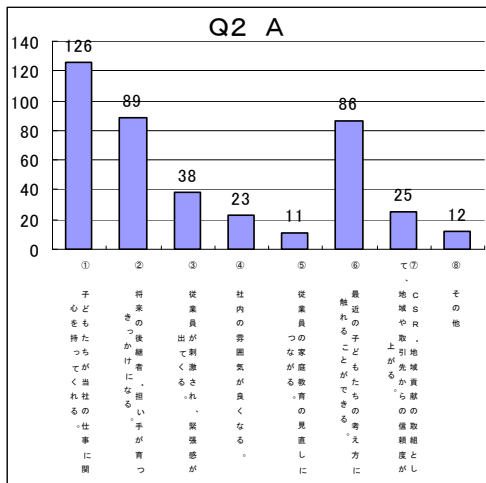
2 小中学生の職場見学や職場体験等について、貴社におけるお考えをお伺いします。

A 貴社にとって、メリットと感ずることとはどのようなことですか？(複数回答可)

① 子供たちが当社の仕事に関心を持ってくれる。	1 2 6	8 2 %
② 将来の後継者・担い手が育つきっかけになる。	8 9	5 8 %
③ 従業員が刺激され、緊張感が出てくる。	3 8	2 5 %
④ 社内の雰囲気良くなる。	2 3	1 5 %
⑤ 従業員の家庭教育の見直しにつながる。	1 1	7 %
⑥ 最近の子供たちの考え方に触れることができる。	8 6	5 6 %
⑦ CSR・地域貢献の取組みとして、地域や取引先からの信頼度が上がる。	2 5	1 6 %
⑧ その他	1 2	8 %

(意見)

- デイのお年寄りも子どもさんとのふれ合いを楽しんでおられる。通信に、来ていただいた事を記事として載せた。
- たまに子ども同士がかたまっ話をしていたりしている場面もあり注意させていただきました。
- 利用者さんと一緒に作業していただき、障がいを持つ方に対して接し方や考え方が少しでも変わってもらえたら嬉しいです。
- 利用者にとっての刺激になる。子ども達の障害者の見方の変革
- 障がい者理解につながると嬉しいです。
- 学校では見せない部分を見ることができる。



○介護は大変というイメージが生まれている。実際、専門学校等も減少する中で、高齢者や身障者介護を受ける方は増加している。やりがいを感じ、人に感謝される仕事の素晴らしさを肌で感じられる機会は貴重だと思います。また、小中学生が来てくださることで、入所者の笑顔が増えることに喜びを感じます。

○利用者の高齢者が喜びます。

○施設の理解をして下さる生徒さんが一人でも多く増えてくれることを希望します。

○利用者への気分転換が図られる。子ども達とのふれ合いで刺激を得る。前回、コーラスグループに入っている子どもが独唱してくれたことがあり、(お茶の時間に) その堂々とした態度や歌声に皆が感動し、今だに語り種となっている。

○皆やさしい子ども達で、メンバーと碁やゲームをして楽しい

一時をすごしました。相互理解ができると思います。

○体験実習の取り組みを評価し、協力させていただいております

○高齢者への関わりは言葉づかい等、生徒達も意識を持って体験していただきたいと思います。

○お年寄りが子どもさんと会話を楽しんだり、ゲームや碁など一緒にでき、とても喜ばれます。

○障害者理解を深めるきっかけになっている。

○生徒さんによって、やる気のあるなしの差が大きいです。利用者の皆さんに好ましく思われる生徒さんいれば、不快感を与える生徒さんもいます。体験される生徒さんはおお客様ではありません。お客様を受け入れる立場ですから、その点をしっかりと踏まえて、参加して欲しいと思います。また、それぞれの生徒さんが獲得目標をしっかりと持って、職場体験に臨んでいただきたいと思います。

○この仕事をしたいという気持ちで来てくれる子どもさん達はいいのですが、関心のない子どもさんも中にはいて態度が気になる事もあります。職場に来たからには一日元気で何かを学んで帰って欲しいと思います。

○障害者に触れることを通して、少しでも障害者(人間)に理解と関心を持ってもらえたらと思う。

○将来の担い手になっていく子ども達なので、本当に大事にしていきたい。第三者が入ってくることでいろいろな発見があったりしてよい。子どもさんが来社されると利用者の方が喜ばれることが多くある。

○核家族化が進んでいる時代、子ども達とのふれ合いの時間は、利用者の心に安らぎ・笑顔を与えてくれるもので、利用者の方々も喜んでおられます。

○家事を全くしたことのない生徒は、お母さんのことを尊敬したりできると思う。

○職場体験は学校での学習の場とは違い、働く場(物を作る)である事を学校で事前に知らせておいて欲しい。

○本当に料理の元から習いたい人にはいいと思うが、子どもに朝から夜遅く料理の仕事の内容はわからないと思う。ただ、疲れた辛いだけだと思う。

○学校に言われてとりあえず実習に来るといった感じが全体的にある「みんなやっているから」「学校に言われるから」といったことが背景にはあると思われそうですが、なにより自分の為にこういった実習をしていることを理解させてほしい。

○親の躰がよくわかります。

○建設業を希望する生徒は少ない状況です。建設業に対するイメージがあると思いますが興味ある仕事を含めた職場体験をしています。更に興味を持ってもらい地元から将来の担い手が大量出ることを期待しています。

○少しでも生徒達が達成感を持ち、やり遂げる力をつけ、将来の役に少しでも立てればと思います。

○中学生が小さい子どもたちに触れ、自分が育てられたことを振り返ったり、生命の大切さを感じるきっかけになって下さればと思います。

○こどもとの関わりやこどもの姿を通して、自分や友達・家族について見つめる機会になっていることが嬉しいです。

○税理士会でも、小中学生に対する租税教育に力を入れ始めています。少しでも役に立てばと考えています。

○特に当方にメリットがあるとは思えない。

○日程的に間がない受入になる場合が見られる。

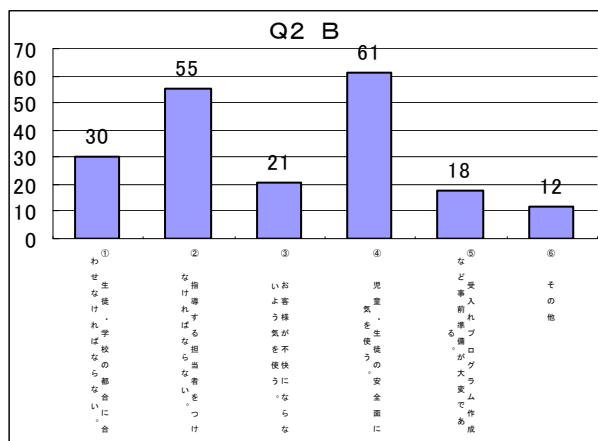
○中学生が年の離れた小さい子に触れた体験、また、小さい子が年の離れたお兄さん、お姉さんと触れ合う体験は、今、とても貴重な体験だと思います。

○各クラスに一名ずつ入ってもらおう。(複数入ってもらおうと私語が多くなりがちだから)

- ◎ 福祉施設等の仕事への理解
- ◎ 福祉施設の利用者、保育園の園児などに喜ばれる

B 貴社にとって、デメリットと感ずることはどのようなことですか？（複数回答可）

① 生徒・学校の都合に合わせなければならない。	30	20%
② 指導する担当者を見つけなければならない。	55	36%
③ お客様が不快にならないよう気を使う。	21	14%
④ 児童・生徒の安全面に気を使う。	61	41%
⑤ 受入れプログラム作成など事前準備が大変である。	18	12%
⑥ その他	12	8%



（意見）

- いつもと違った雰囲気があるのでご利用者も気分転換できると思う。
- 長期の実習生を複数受け入れている職場であること。利用している子ども達が低年齢化しており、かなりデリケートな時期であることなどから、職場体験の生徒さんの参加場面や内容については検討させていただいています。
- デメリットではありません。が、入所者さん、生徒さん双方の安全を最優先しています
- デメリットを感じたことはありません。
- 体験する内容が限られてしまう。
- デメリットを感じることはありません。お年寄りの

皆様が大変喜ばれうれしい事ばかりです。

- ありのままの状況を見てもらえばと思い、特に大変ではなかった。
- 顧客の個人情報保護・生徒の安全
- 日々あまりゆとりのある体制でないことから、関わる職員の負担になる面もあるが、また、自分自身の勉強にもなることから、有意義と考えています。
- 高齢の方も障害の方も生徒さんと話をすることが楽しみです。たくさん話をしてくれると、職員はうれしく思います（なかなか話が合わないかもしれませんが）。
- 職員が少ないので多少子ども達のことでも手間がかかりますが、お年寄りが喜んでくれるのでデメリットにならない。
- 生徒さんによって、メリットになる場合もあれば、デメリットになる場合もあります。
- この間に対しては、受け入れ側のメリットと考えているのでデメリットとして考えていません。
- 少ない職場体制で生徒への指示を出さなければならず、一度言ったことを聞いてくれず、何度も言わなければならないこともあり、仕事が中断してしまいます。
- 転入職員が多数入ってきた中で、中学生の対応が十分にできたか心配です。
- ほとんど一日立ち仕事であることと生徒さんも緊張があると思うので体調に気を使います。特に長い期間の5日間になると生徒さんに疲れも見られます。
- 将来、やってみたい仕事としては来ていない。学校の方で気を使っただいて動ける生徒さんが来てくれるのだが、興味がないと気が付かない。各社、人数制限があるため、先生達が大変そうですね。
- デメリットと感ずる程ではないが、けがや事故が起きないようにいつも以上に気を使います。
- ほとんどがご予約のお客様なので、期日を指定されると子ども達が想像したことと違い、残念がるかも知れない。
- 当社での体験が、生徒さんに良い体験になっているのか、気を使う
- 学校の日程に合わせて実施するため、無理やり仕事をつくって対応しなければならない点が負担となっています。煩忙期には生徒にやってもらいたい仕事は沢山あるのですが…。
- 中学生でもできる仕事を探すのが大変
- 地域への貢献を目指している弊社としてはなるべく体験学習を受け入れられる方向で検討しようと思っておりますが体験学習の期間が2日以上となると弊社で発行しているホームニュースの締切日と重なる可能性が

多くなり、各部署ごとに、どの日程を受け入れられるかの検討をしてから、全体の集計が必要となってくる。

- 特にデメリットとは感じていない
- 建設現場は危険が多いため、安全面については特に注意が必要です。そのため指導する担当者は付ききりになります。しかし、危険な箇所や場所などの指導により、生徒も安全に対する意識が高まると感じます。
- 大きな機械を扱うので、けががないようにと気を使います。
- 測量や設計の業務が毎日無いため、中学生が来る日は体験のための測量や設計（CAD 製図）を組まなければならないと、通常の業務に大きな支障を与えてしまう。体験日のすべてにおいて、担当者を充てなければならないこと。（8名の事業所ではとても負担が大きい）当事務所が担当する工事現場が下伊那郡内（飯田市以外）に限られるため、工事指導の同行については遠い現場になり時間のロスを生じる。また工事現場での「安全」について特に気を遣いました。
- 新型インフルエンザ流行につき、安全面に配慮しとりやめるなど、対応が大変でした。
- デメリットになることはないと思いますが、積極性に欠ける場面を多く感じます。緊張はあるかと思いますが、社会を経験する良い機会にさせていただきたいです。
- 生徒さんの若い元気なパワーを期待して受け入れていますが、緊張や遠慮を除いても今の中学生の活気が伝わりにくく、残念に思っています
- 体験で来てくれたことで、子ども達が喜ぶ反面、園児の気持ちもいつも以上に気持ちが高揚するので、より安全面に気を使います。
- 担当者一名が一緒について行くとはいえ体験してもらえる作業が限定される。自分の通帳を作る等、事前準備していただければ、体験の幅が広がるのでは。
- 突発事故があると、生徒への対応ができない可能性がある。
- 守秘義務のある仕事なので、なるべく内容が分からないように気をつけています。
- そちらの都合の良い日が、受入可能とは限らないので申し訳ないです。
- まれに元気が良すぎて園児とぶつかった、夢中になりすぎて転んだり少々心配な姿もある。
- 2週と3週と受入が連続するとさすがに負担に感じます。

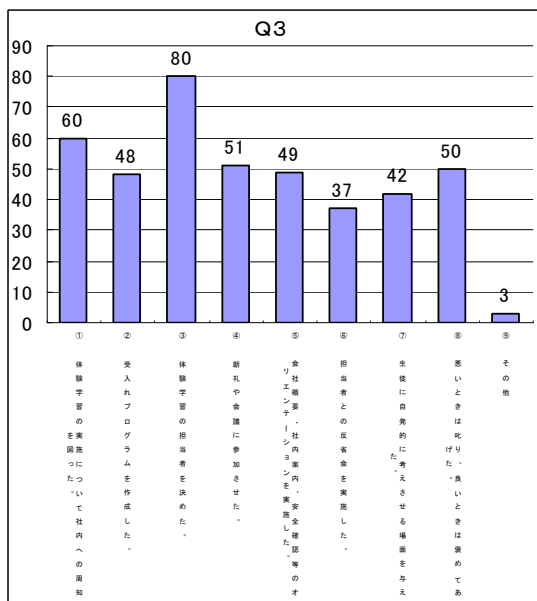
◎ 安全面に気をつかう。担当者を付けなければならない。
◎ 学校の日程に合わせて、体験内容などを考えること（仕事上のロス）
◎ 生徒の指導のため仕事を中断しなければならない。

3 よりよい体験学習のために、貴社が工夫されたことについてお答えください。（複数回答可）

① 体験学習の実施について社内への周知を図った。	60	39%
② 受入れプログラムを作成した。	48	31%
③ 体験学習の担当者を決めた。	80	52%
④ 朝礼や会議に参加させた。	51	33%
⑤ 会社概要・社内案内、安全確認等のオリエンテーションを実施した。	49	32%
⑥ 担当者との反省会を実施した。	37	24%
⑦ 生徒に自発的に考えさせる場面を与えた。	42	27%
⑧ 悪いときは叱り、良いときは褒めてあげた。	50	33%
⑨ その他	3	2%

（意見）

- 職員とは違って短いオリエンテーションですが実施しています。
- 発達障害をもつ方達に関心を寄せてもらい、理解を少しでもしてもらえるように、同世代の当事者の方が書いた文献の紹介をしました。
- プログラムは、各部署に一任している。
- 体験学習の生徒さんの受入については、2名とさせていただいた事、理由は以前は5名ほど受け入れていましたが、どうにも生徒同士でかたまって話をしてしまって、学習するところまでいきませんでした。最近では2名の受入で、1名は一般、もう一名は認知症対応とさせていただいております。
- 終了日に感想を聞き、次に生かそうと考えている。
- 最初の時にオリエンテーションと一日の終わりに振り返り（反省会・いやなこと、困ったこと、悲しかったことなど）を行いました。



○職場体験としての受け入れと、福祉体験としての受け入れでは、学校側の趣旨が違って来るように思います。特に、福祉体験として見られる場合は、その視点で学んで欲しいと思います。

○雰囲気を感じてもらうことに中心をおいているので、あまり特別なことはしないで、ありのままに触れてもらうようにしている。

○プログラムを作成し、社内への周知を図り受入体制を前もって作っておいた。当日には、お世話係の担当をつけ、スムーズに体験学習が出来るように配慮した。

○体験学習の担当者を毎回決めて行っていますが、指導するという能力が職員に身につくことができなかったと思います。

○複数人の場合、一度に教えられない。その時、先に教えた者にその事を次の人にきちんと教えられる人になる、これは現場で実践することで学ぶ唯一の方法

○学校ごとに実施期間が異なり、体験プログラムを組むの

に苦労する。出来れば、体験期間を統一していただく等、ご配慮願えたらと思います。

○毎日、最後に感想を聞くようにしていこうと思います。

○仕事内容がもの作りなので、一つの提灯を自力で完成させ、達成感を体感してもらえ、一緒に作業してもらおうようにしている。

○社長と担当者を含めた昼食会を行い、歓談する時間を取っています。

○毎回、受入プログラムを作成して体験を行っています。体験前の打ち合わせ時に、建設業のどんな事に興味があるのかを聞いて体験に取り入れています。

○自分たちで年齢にあったゲームを工夫し、園児達と楽しく遊んでいる。クラスの担任は、子ども達と一緒に遊びに参加して楽しんでいる。

○部活でやっていることや得意なことをこども達に見せてもらったりアピールしてもらっています。

○特別な仕事ではなく、他の事務員と同様、仕事をしてもらいます。

○業種柄、本来の職場体験とは異なり、業務内容の講習となる為、2日間の受入ができない。実体験できる鑑識作業時間を多くしている。

○一人ずつ別のクラスに入ってもらい、人に頼ることなく、自分で考え、自分で吸収できる体験にしてみました。

○兄弟が少ない生徒さんにとっては、保育園体験はとてもよい学習になるので是非おいで下さい。

4 職場見学や職場体験の際に起きたエピソードなどがありましたらお書きください。

○重機に乗って作業員が生徒の手を握り、一緒に動かす体験では、どの生徒にも「にこやかな楽しい表情」が伺えます。また、測量では「真剣な顔になり、厳しい表情」が伺えます。そんな様子を写真に撮り渡しています。

○キャリア教育に対する考え方が学校によってかなり差があると感じています。真剣に取り組んでいる（事前打合せ・学校の紹介・体験後の報告）学校もあれば、行事として実行すればいいんだと感じる学校もありました。生徒を受け入れる企業・職場は、キャリア教育を真剣に考えてこの不景気でも担当者をつけて受け入れていると思います。そのような企業・会社の真剣な気持ちや期待を学校側でも感じとり、厳しい社会状況を先生方も理解していただき、それを先生から生徒に伝えていくような学習を望みます。

○未満児（2才児）クラスに初めて入ったのですが（21年度）、男子生徒がブロックなどでロボット、自動車などを作ってくれたので大喜びでした。

○送迎の際の親御さんの様子が様々で、生徒さんの実習の姿とも重なることが多く、色々考えさせられます。

○実際に自分の通帳を作成してもらい、受付から出来上がりで交付するまでの流れを見ていただいた。

○体験の生徒さんに、なぜ、この仕事に就いたのかと昼食中に質問されたスタッフが熱弁していました。入社当時の思いがこみ上げてきたと言っていました。

○写真撮影などの取材体験先で、「新聞で見たよ」と声をかけてもらい、生徒達も励みになったようだった。（報道機関で体験）

- 体験学習 2 日目に新型インフルエンザにかかった男子生徒がいましたが、学校側で適切に対応していただき、軽快したと聞いています。生徒も印象に残った様子で礼状をいただきました。これとは別に、心身の体調による事情とのことでしたが、皆勤できないケースがあり残念でした。
- パトカー、白パイの見学时、大変興味を示す生徒が多い。新聞記事となった。(飯田警察署で体験)
- 率先して清掃を行える子がいて感心しました。
- 保育園という子ども・遊ぶだけというイメージが、体験してみても、誰もがくつがえされるようです。大変厳しい大変疲れる、こんなに一日は大変だと、働く側の厳しさを誰もが感じてくれています。
- 中学生の表情が子どもと接するうちに柔らかくなった。
- 得意なことを園児の前で見せていただく機会を作ったので、工夫して頑張ってくれました。
- 教え子が職場体験に来てくれて、立派に成長した姿に感動しました。又小さい頃の写真を持ってきてくれてその頃の思い出話に花が咲きました。
- 職場体験の生徒さんが、休みの日に動物園に遊びに来て、職員に声をかけてくれ、元気そうな顔を見せてくれるととても嬉しくなります。
- 保育園での絵本の読み聞かせの実演を中学生にやってもらいました。少し心配でしたが、きちんとやりとげることができ、本人も自信になったようです。
- 保育園へ読み聞かせに出かけた時、中学生に一冊読んでもらったら、大変良い経験ができたようでした。

5 その他、ご意見ご要望がありましたらお書き下さい。

- 昨年度、4名中、1名の生徒さんは希望されたようですが、他の3名の生徒さんは第4希望まで書いても、全く別の所だったということです。できれば、ご本人の希望する所で体験できると良いと思います。
- 核家族化が進む中、生徒さん達がお年寄りに寄り添う貴重な体験のお手伝いが出来る事をうれしく思います。
- 評価方法など学校ごとによって異なるので統一は難しいか。職場体験の目的をしっかりと認識して来る生徒さんとそうでない生徒さんの意欲に差があり、現場対応が困ります。
- 福祉に興味がある方ぜひ来てください。障がいを負っても明るく生きているアンサンブルの利用者の姿を見れば、おのおの何かを感じてくれると思います。
- 現在の小中学生の将来への希望や一般的な生徒像のようなものがわかるとありがたい。
- 障害者施設とはどういうところなのか、あらかじめ学校の方で勉強して下さると、利用者の方との接し方に生徒の方が戸惑いなく入れます。
- 実習生は自分がどういう職場に行って、そこでどんなことをするのか、事前に正確な情報を入れておくことを望みます。
- 学生たちが来てくれると、お年寄りの方たちにも良い刺激となり、大変喜ばれるので有難いです。
- 職場選択の場合、いやいやしょうなく来るのではなく、その職場に関心のある子どもさんを来させていたいただきたいと思います。3日以上なので貴重な時間が無駄にならないように。(来たくなかったがくじで来たという声を何人か聞きました。)
- 事前に服装の件(ズボンを下げてあること)をもう一度注意(呼び掛け)してほしい。
- 出来る限り対応させていただきます。
- 老人施設なので大きな声ではっきりとお話ができるよう指導していただきたい。
- 学校で振り分けられたからと、体験の態度にやる気のなさを感じる生徒がいました。希望しない職場への体験は、本人・受け入れる側も、いやな思いをすと思います。医療の場は人への対応が多い場ですので、ご配慮頂ければと思います。
- 本当はいきたい職場があったのだが、人数が多くて行けず仕方なく来た子もいますので、なるべく本人の希望する職場に行けるようにしてあげて下さい。
- インフルエンザの流行で、計画は立案してあったが、中止になってしまい残念でした。社協への引き継ぎ期間ということで、ある程度きちんとした対応がしたいので、たくさんのお受入は出来ないのをお願いします。
- あいさつ、返事くらいは、中学生であれば自発的に行えると良いと思います。
- 給食を出すのでアレルギーについて、事前に知らせたい。
- 始めと終わりの挨拶がきちんとできるとよい。
- 1年たってからアンケートを送るのではなく、体験の期間が終わった時点で、このようなアンケートを出すべきだと思います。
- 一人一人が夢や目標を持って進むことは大事なことだが、誰もがその通りになるものではない。出来なかったとき、別の目標を考えるまでの強い心を養う教育も必要だと思う。

- 学習に参加する本人達はどうか考えているのか。言われたから来たといった受け身であり、必要性を理解していないのではないか。
- 当店は受注により仕事量が違い、研修受け入れ中にあまり作業のないときがある。掃除や説明だけになってしまう場合が発生することも・・・。(過去はそのようなことはなかったが)
- 老夫婦だけの規模の小さい店ですが、生徒さんには語り合いが持てなかったのではないかと思います。二日間、時間正確に来店し、熱心に仕事をしてくれました。写真に興味があると聞いておりましたが、カメラ関連の本にも目を通したり、レンズ等にも触れて関心のある様子が窺えました。
- ほとんど何も話さない生徒がいて大変困りました。
- 体験が、3日間ですが、当店の内容では2日間でも良いと思います。2年間鼎中の受入をしてきましたが、今年は、鼎中の日程に所用と重なってしまい残念ですが、10月27～29日の日程を希望します。鼎中には宜しくお伝え下さい。
- 社員のためにもなるので、なるべく受け入れられる方向をとりたいと思っていますが長期間になりますと、先に申し上げた通りの理由で受入が難しくなることも考えられますのでご了承下さい。
- 目的意識を持ち、職場体験に臨むことができるようにする。職場体験をする会社の事前学習をする。
- 当社では、工事現場での対応を行っておりますが、安全面を考えて連続三日間は厳しいのですが。
- 建設業は非常に厳しい現状があり、地元からの就職は少ない状況です。中学生のうちから、建設業に興味をもって欲しいと願います。飯田建設業協会を通じて良い種まきができるようにPRが必要です。
- 生徒の意志で当社を選んで欲しい。先生から生徒に行き先を指図しないようにお願いします。
- 人数が多いとなまけてしまう事があるので少人数が良いと思います。
- 短期間の2回体験より、1回の複数日での体験の方が、社員とのコミュニケーションもとれ、もっと充実した経験になると思われます。
- ジャージのズボンをずり下ろしている支度がとても気になります。きちんと穿いてほしいです。
- 私自身も中学校時代に職場体験を行い、今でもはっきりと覚えています。その時は、将来この仕事に就きたいとそれほど強い思いはありませんでしたが、いろいろ感じる事があったように思います。学生にとっては、よい機会となる様に対応できたらと思います。
- 出来る限りのことはさせていただきたいと思っていますが、少人数の会社ですので担当を付ける仕事が3日間は厳しいです。2日間くらいだと、当社の場合はちょうどいいです。
- 業務の性質上、連続5日間というような長い日程や、一度に3人以上の多人数の受入は難しい。
- 車での移動が少しあると思います。それが対応として可能かどうか判断をお願いします。
- 職場体験は、1日のみの日程であるが、希望者が各学校4～5名があるとよい。
- 父兄の都合で、送り迎えが不可能な場合におきました対応をお願いいたします。(バス代を持参していただくなど)
- 小さい子ども達は素直です。心から全力でぶつかっていかないと心を動かしてくれません。体験を通して、コミュニケーションの大切さ、自分から心を開いてぶつかっていく事を学んでほしいです。
- 昔は保育を家庭科の一環のような型で学んだ時期もあり、全員が園に来て、絵本を読んだり一緒に遊んでくれたりしてくれた所もありました。
- 紹介票のお陰で、かなり先の体験学習の予定を知ることができ、当方としても予定の調節がつけやすくてありがたいです。

- ◎ 職場体験の目的をしっかり理解させる
- ◎ 体験場所の決め方について (希望しなかった職場で体験する場合の指導のあり方)
- ◎ 体験場所の情報を事前に生徒へ
- ◎ 生徒の服装についての指導を (通称・腰パン)